

2023年度 事業報告書



一般社団法人 全日本囲碁連合

1. 公益財団法人日本オリンピック委員会（JOC）への登録、及び事業協力

1.1 公益財団法人日本オリンピック委員会（JOC）への登録

JOC加盟申請に必要な書類ならびに諸規程を、他のJOC加盟団体の事例を参考にしながら、スポーツ庁が策定している中央競技団体向けの「スポーツ団体ガバナンスコード」を確認し、準備を進め、2021年7月21日にJOC総務部にJOCへの加盟申請書を提出した。現在も継続審議をいただいている状況である。

1.2 公益財団法人日本オリンピック委員会（JOC）への事業協力

日本オリンピックミュージアム(JOM)で開催された企画展「パリ 2024 大会 1 年前→杭州 2022 アジア競技大会」の一環として、アジア競技大会でマインドスポーツとして実施される「囲碁」の体験イベントをJOCと共催で実施した。

日時：2023年9月10日(日) 10:00～12:00、13:30～15:30

会場：日本オリンピックミュージアム

(新宿区霞ヶ丘町4番2号 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE)

主催：公益財団法人日本オリンピック委員会(JOC)

共催：一般社団法人全日本囲碁連合

参加者：小中学生および保護者 午前・午後の部ともに各最大30組60名

●指導棋士



吉原由香里六段
(日本棋院)



藤原克也六段
(関西棋院)

●ゲスト棋士（アジア大会選手）



関航太郎天元
(日本棋院)



佐田篤史七段
(関西棋院)

対象
小学生/中学生
保護者同伴
(無料)
※保護者の方は
入館料500円

アジア競技大会で行われた
囲碁を
日本オリンピックミュージアム
やってみよう!

初心者も
経験者も
大歓迎!!

9/10(日)
①10:00~12:00
②13:30~15:30
各回30組60名

★講師★
吉原由香里六段 藤原克也六段

★ゲスト棋士★
(杭州2022アジア大会TEAM JAPAN代表選手)
午前部 関航太郎天元 午後部 佐田篤史七段

★参加賞★
参加した方には、9路盤
入門セットをプレゼント!!

日本オリンピックミュージアム
東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号
JAPAN SPORT
OLYMPIC SQUARE | 2F
03-6910-5561
<https://japan-olympicmuseum.jp/jp/>

● 囲碁入門教室



● ミュージアム見学



2. 代表選手及び役員を選定及び派遣

2.1 第19回アジア競技大会 囲碁競技への選手・役職員の派遣

JOC強化第一部からの内示を受け、中国・杭州市で行われる第19回杭州アジア競技大会に囲碁代表選手8名（男子5名、女子3名）を派遣した。

男子個人戦、男子団体戦、女子団体戦の3種目に出場し、男子団体戦と女子団体戦でそれぞれ銅メダルを獲得した。

また、JOC強化第一部からの内示を受け、囲碁競技の選手をサポートするコーチ1名と職員2名を派遣した。併せて大会組織委員会及び中国囲碁協会の要請により、当法人役員2名を大会審判として派遣した。

【 競技日程 】

2023年9月24日（日）～10月3日（火）

男子個人戦：9月24日（日）～9月28日（木）

男子団体戦・女子団体戦：9月29日（金）～10月3日（火）

【 競技会場 】

杭州棋院チェスホール（Hangzhou Qi-Yuan (Zhili) Chess Hall）

【 出場国・地域 】

10か国・地域、81名（男子51名、女子30名）

中国、中国香港、中国マカオ、日本、韓国、マレーシア、モンゴル、シンガポール、タイ、中華台北

男子（2種目）：団体戦（9か国・地域：51名）、個人戦（9か国・地域：18名）
女子（1種目）：団体戦（8か国・地域：30名）



杭州棋院チェスホール



囲碁競技 日本代表選手 8名

● 囲碁日本代表選手

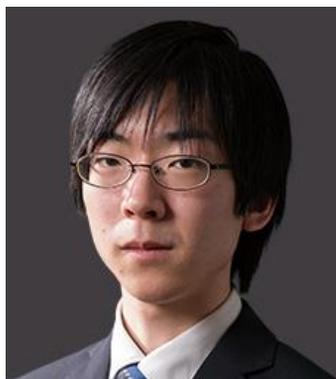
※ 1. () 内は国内タイトル

※ 2. 段位とタイトルは大会出場時

● 男子団体戦 日本代表選手 **※一力九段と芝野九段は個人戦にも出場**



一力遼九段
(棋聖・本因坊)



芝野虎丸九段
(名人・十段)



井山裕太九段
(王座・碁聖)



関航太郎九段
(天元・NHK杯)



佐田篤史七段

● 女子団体戦 日本代表選手



藤沢里菜 六段
(女流本因坊)



上野愛咲美 五段
(新人王・女流名人・女流立葵杯)



上野梨紗二段

● 男子個人戦

開催日：2023年9月24日（日）～28日（木）

会場：杭州棋院チェスホール（Hangzhou Qi Yuan (Zhili) Chess Hall）7階

対局条件：中国ルール 全互先 先番7目半コミ出し

持ち時間1時間、30秒3回の秒読み



● 男子個人戦 予選A組 結果

1位：申眞諤九段（韓国） 2位：楊鼎新九段（中国）
 3位：許皓鋐九段（中華台北） 4位：芝野虎丸九段（日本）

	国・地域	1回戦	2回戦	3回戦	4回戦	5回戦	6回戦	勝敗	順位
1	中華台北 許皓鋐九段	○ マレーシア	○ 中国マカオ	× 韓国	× 中国	○ 中国香港	○ 日本	4-2	3
2	マレーシア 李松凱	× 中華台北	—	× 日本	× シンガポール	× 中国マカオ	× 中国香港	1-5	9
3	中国香港 Chan C-H	○ タイ	× 韓国	× 中国	—	× 中華台北	○ マレーシア	3-3	5
4	タイ Karuehawanit W	× 中国香港	× 中国	○ シンガポール	○ 中国マカオ	—	× 韓国	3-3	5
5	韓国 申眞諤九段	○ 中国	○ 中国香港	○ 中華台北	○ 日本	○ シンガポール	○ タイ	6-0	1
6	中国 楊鼎新九段	× 韓国	○ タイ	○ 中国香港	○ 中華台北	○ 日本	○ 中国マカオ	5-1	2
7	シンガポール Kwa J-H	○ 中国マカオ	× 日本	× タイ	○ マレーシア	× 韓国	—	3-3	7
8	中国マカオ Sam I-H	× シンガポール	× 中華台北	—	× タイ	○ マレーシア	× 中国	2-4	8
9	日本 芝野虎丸九段	—	○ シンガポール 棋譜再現 >	○ マレーシア 棋譜再現 >	× 韓国 棋譜再現 >	× 中国 棋譜再現 >	× 中華台北 棋譜再現 >	3-3	4



● 男子個人戦 予選B組 結果

1位：柯潔九段（中国） 2位：朴廷桓九段（韓国）
 3位：一力遼九段（日本） 4位：頼均輔八段（中華台北）

	国・地域	1回戦	2回戦	3回戦	4回戦	5回戦	6回戦	勝敗	順位
1	韓国 朴廷桓九段	× 中国	—	○ シンガポール	○ 日本	○ 中華台北	○ マレーシア	5-1	2
2	中国 柯潔九段	○ 韓国	○ 中華台北	○ 日本	○ シンガポール	○ タイ	○ 中国香港	6-0	1
3	日本 一力遼九段	○ マレーシア 棋譜再現 >	○ 中国香港 棋譜再現 >	× 中国 棋譜再現 >	× 韓国 棋譜再現 >	○ 中国マカオ 棋譜再現 >	○ タイ 棋譜再現 >	4-2	3
4	マレーシア 曾富康二段	× 日本	○ 中国マカオ	× 中華台北	× 中国香港	—	× 韓国	2-4	8
5	中華台北 頼均輔八段	○ 中国香港	× 中国	○ マレーシア	○ タイ	× 韓国	—	4-2	4
6	中国香港 Chan N-S	× 中華台北	× 日本	○ 中国マカオ	○ マレーシア	○ シンガポール	× 中国	3-3	5
7	中国マカオ 盧瑛球	× タイ	× マレーシア	× 中国香港	—	× 日本	× シンガポール	1-5	9
8	タイ Sornarra P	○ 中国マカオ	× シンガポール	—	× 中華台北	× 中国	× 日本	2-4	7
9	シンガポール Kang Z-B	—	○ タイ	× 韓国	× 中国	× 中国香港	○ 中国マカオ	3-3	6



● 男子個人戰 最終結果

金メダル：許皓鋐九段（中華台北） 銀メダル：柯潔九段（中国） 銅メダル：申眞諤九段（韓国）



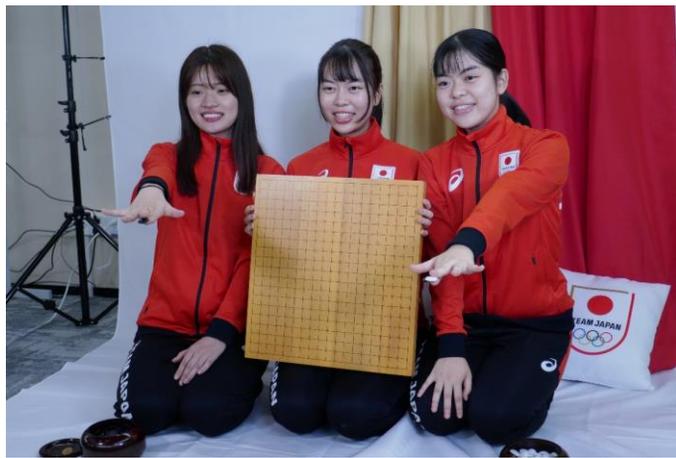
● 女子団体戦

開催日：2023年9月29日（金）～10月3日（火）

会場：杭州棋院チェスホール（Hangzhou Qi Yuan (Zhili) Chess Hall）7階

対局条件：中国ルール 全互先 先番7目半コミ出し

持ち時間1時間、30秒3回の秒読み



● 女子団体戦 予選 結果

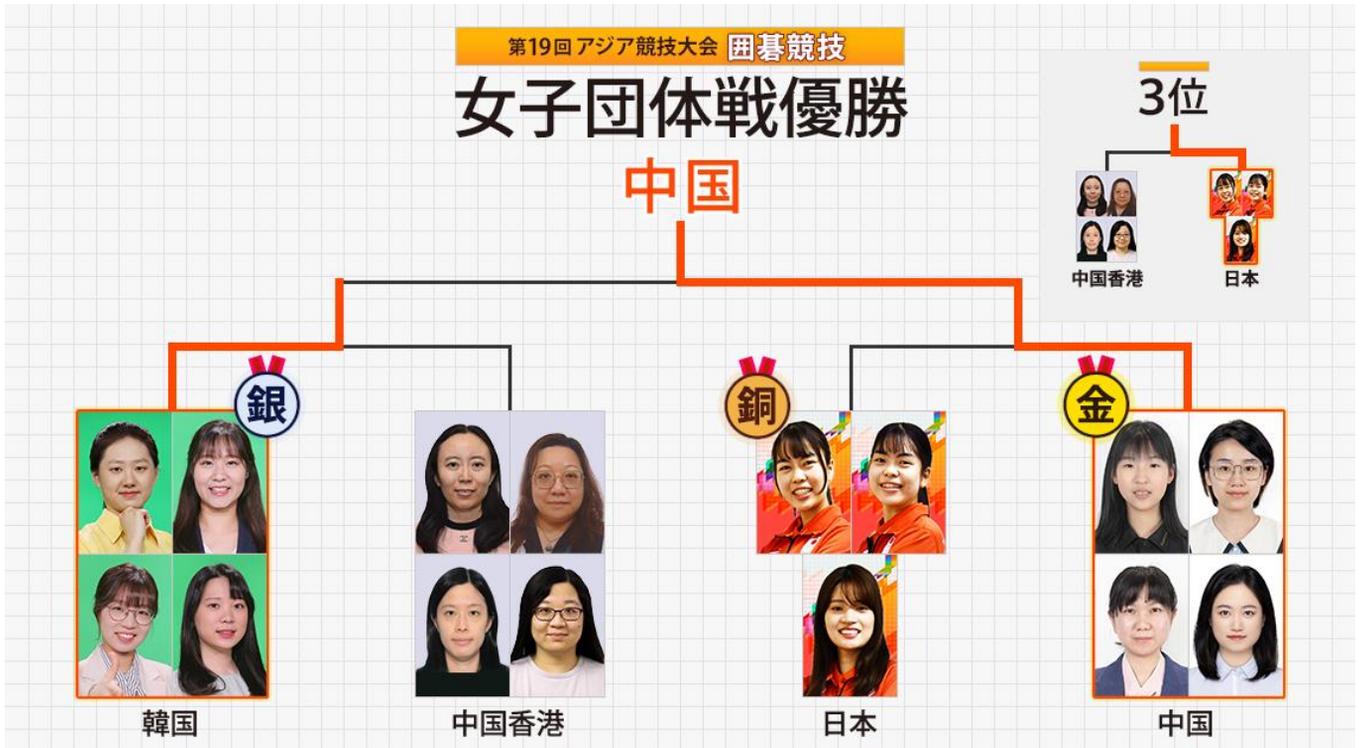
1位：韓国 2位：中国 3位：日本 4位：中国香港

	国・地域	1回戦	2回戦	3回戦	4回戦	5回戦	勝敗	順位
1	日本	○ タイ 3-0	× 中国 1-2	○ 中華台北 3-0	× 韓国 1-2	○ マレーシア 3-0	3-2	3
2	タイ	× 日本 0-3	○ モンゴル 3-0	× 中国香港 1-2	○ マレーシア 2-1	× 韓国 0-3	2-3	6
3	中華台北	× 韓国 0-3	○ マレーシア 3-0	× 日本 0-3	○ モンゴル 3-0	× 中国 1-2	2-3	5
4	韓国	○ 中華台北 3-0	○ 中国香港 3-0	○ 中国 2-1	○ 日本 2-1	○ タイ 3-0	5-0	1
5	マレーシア	× 中国香港 0-3	× 中華台北 0-3	○ モンゴル 3-0	× タイ 1-2	× 日本 0-3	1-4	7
6	中国香港	○ マレーシア 3-0	× 韓国 0-3	○ タイ 2-1	× 中国 0-3	○ モンゴル 3-0	3-2	4
7	モンゴル	× 中国 0-3	× タイ 0-3	× マレーシア 0-3	× 中華台北 0-3	× 中国香港 0-3	0-5	8
8	中国	○ モンゴル 3-0	○ 日本 2-1	× 韓国 1-2	○ 中国香港 3-0	○ 中華台北 2-1	4-1	2



● 女子団体戦 最終結果

金メダル：中国 銀メダル：韓国 銅メダル：日本



● 男子団体戦

開催日：2023年9月29日（金）～10月3日（火）

会場：杭州棋院チェスホール（Hangzhou Qi Yuan (Zhili) Chess Hall）8階

対局条件：中国ルール 全互先 先番7目半コミ出し

持ち時間1時間、30秒3回の秒読み



● 男子団体戦 予選 結果

1位：韓国 2位：中国 3位：中華台北 4位：日本

	国・地域	1回戦	2回戦	3回戦	4回戦	5回戦	6回戦	勝敗	順位
1	中国香港	○ モンゴル 5-0	× 韓国 0-5	× 中国 0-5	○ マレーシア 5-0	—	○ シンガポール 5-0	4-2	5
2	モンゴル	× 中国香港 0-5	× 中華台北 0-5	× シンガポール 0-5	—	× タイ 0-5	× マレーシア 0-5	1-5	9
3	マレーシア	× 日本 0-5	—	× 中華台北 0-5	× 中国香港 0-5	× 中国 0-5	○ モンゴル 5-0	2-4	8
4	日本	○ マレーシア 5-0	○ タイ 5-0	× 韓国 0-5	○ シンガポール 5-0	× 中華台北 1-4	—	4-2	4
5	中華台北	× 韓国 0-5	○ モンゴル 5-0	○ マレーシア 5-0	○ タイ 5-0	○ 日本 4-1	× 中国 1-4	4-2	3
6	韓国	○ 中華台北 5-0	○ 中国香港 5-0	○ 日本 5-0	○ 中国 4-1	○ シンガポール 5-0	○ タイ 5-0	6-0	1
7	タイ	× 中国 0-5	× 日本 0-5	—	× 中華台北 0-5	○ モンゴル 5-0	× 韓国 0-5	2-4	6
8	中国	○ タイ 5-0	○ シンガポール 5-0	○ 中国香港 5-0	× 韓国 1-4	○ マレーシア 5-0	○ 中華台北 4-1	5-1	2
9	シンガポール	—	× 中国 0-5	○ モンゴル 5-0	× 日本 0-5	× 韓国 0-5	× 中国香港 0-5	2-4	6



● 男子団体戦 最終結果

金メダル：韓国 銀メダル：中国 銅メダル：日本



2.2 国際マインドスポーツ協会（IMSA）主催大会・会議への選手役員派遣

国際マインドスポーツ協会（IMSA）が主催する国際大会は、2023年度は実施されなかったため、代表選手ならびに役員を選定・派遣は実施しなかった。

なお、IMSA理事会は対面で実施されたため、国際囲碁連盟（IGF）から役員が派遣され、会議に参加した。

3. 選手の選考基準の策定

当法人から派遣する選手の選考基準を明確化するため選手選考規程を2021年6月28日に実施した理事会で審議し承認した。

この選手選考規程に基づき、第19回アジア競技大会囲碁競技に派遣する選手の選考基準を策定し、2023年1月11日に開催した役員会にて審議、承認を行い、この基準をもって2023年1月から2月に選手選考を実施した。

4. 参加国による競技ルールを取決め、調整及び国際会議出席者の推選

今年度は国際マインドスポーツ協会（IMSA）が主催する国際大会が実施されなかったため、競技ルールの取り決め等の打ち合わせは実施しなかった。

なお、国際囲碁連盟（IGF）において、中国より統一ルールを策定する動きが出ており、今後の状況を注視していく方針。

5. 選手の育成、指導、強化

5.1 第19回アジア競技大会 囲碁競技 事前強化合宿

アジア大会開催1か月前に、日本代表8名全員が集結し、1泊2日の事前強化合宿を実施。

大会本番に向けて中国ルールの講習会や、囲碁AIも活用した対戦相手の研究や練習対局、アンチドーピング講習会等を実施した。

また2日目には、記者会見と公開練習を実施、多くのマスコミが取材に訪れた。

【 開催日 】

2023年8月8日（火）～8月9日（水）

【 競技会場 】

味の素ナショナルトレーニングセンター会議室（ 東京都北区西が丘 ）



囲碁競技 日本代表選手 8名



杭州棋院チエスホール

● 中国ルール講習会



● 対戦相手の研究、AIでの検討、練習対局



● 記者会見



● 公開練習・個別取材



5.2 選手・役員へのインテグリティ教育

第19回アジア競技大会派遣に伴う、JOC主催のメディカルチェック及び派遣手続きに、2023年5月10日、12日、16日に参加した。

その際に、JOCからインテグリティ講習会が実施され、派遣選手8名と職員2名が参加し、インテグリティに関して理解を深めた。

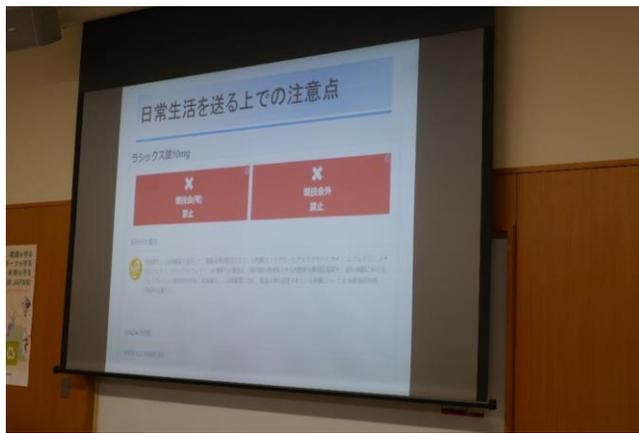
6. アンチドーピングへの教育と啓発

6.1 ファーマシストとの連携

アンチドーピングに関する知識を持つファーマシストとの契約を行い、選手や役員がいつでも相談できる体制を整えた。

またファーマシストと連携し、第19回アジア競技大会の囲碁日本代表選手を対象に、常用薬の成分確認や使用可能薬の情報提供を実施した。

2023年8月9日には、アジア競技大会前の事前合宿において、ファーマシストを講師として招聘し、日本代表選手向けのアンチドーピング講習会を実施した。



6.2 WADA提供のeラーニング「ADEL」受講

世界アンチ・ドーピング機構（WADA）が提供するクリーンスポーツ教育デジタルプラットフォーム「ADEL」を第19回アジア競技大会に出場する選手および派遣される職員が受講し、アンチドーピングへの理解を深めた。

- ・「国際レベルアスリート教育プログラム
（International-Level Athletes Education Program）」



The screenshot shows the ADEL website interface. At the top left is the ADEL logo with the WADA logo next to it. Below the logo is a navigation bar with a purple background containing the text: < Back Home > 国際レベルアスリート向け教育プログラム (日本語 / Japanese). The main content area features a white box with a photograph of a speed skater on the left and the text '国際レベルアスリート向け教育プログラム (日本語 / Japanese)' on the right. Below this is a section with two tabs: 'ABOUT THIS EDUCATION PROGRAM' (selected) and 'EDUCATION PROGRAM STRUCTURE'. The text under the selected tab reads: 'この教育プログラムは、国内レベルのアスリートに向けたものです。ADEL国内レベルアスリートコースと「アスリートガイド 2021年版 世界アンチ・ドーピング規程 (2021Code)」における重要な変更点が含まれています。ADEL国内レベルアスリートコースは、多くのモジュールを含んでいます。各モジュールは、アンチ・ドーピングとクリーンスポーツに関連する特定の1つのトピックに焦点を当てています。最終クイズに80%以上の得点で合格する必要があります。最後に、学習経験アンケートに回答していただき、フィードバックと今後の改善についてお答えください。コースとガイド両方が修了すると、修了証 (certificate) が得られます。'

6.3 JADA主催のフォーラム、教育会議への出席

JADA主催のアンチドーピングに関するフォーラムや教育会議に事務局職員が出席し、アンチドーピングに関する情報収集と学習を実施した。

7. その他前各号に掲げる事業に附帯又は関連する事業

7.1 クラウドファンディングの実施

法人の活動資金の確保ならびに安定的な運営を行うため、個人向けのクラウドファンディングを実施した。

2023年7月14日より2か月間実施し、172名の方々から目標金額（1000万円）を上回って11,543,000円もの支援をいただき、下記の用途に使用することができた。

- ① 国際大会への選手・役職員派遣に関わる費用
- ② 選手の強化合宿費用
- ③ JOCと連携した囲碁入門教室開催の費用



7.2 当法人構成団体の事業に対する協力

社員である日本棋院、関西棋院、日本ペア碁協会の各団体が主催する以下の大会・イベントに対して協力を行った。

第33回国際アマチュア・ペア碁選手権大会：2023年12月2日、3日開催

7.3 定期会合の実施

日本棋院、関西棋院、日本ペア碁協会から選出された当法人の理事・監事が集まり、定期会合を実施した。囲碁・ペア碁における各団体の事業や国内外の課題に関して、活発な意見交換を行った。

8. 2023年度活動の総括

2023年9月24日～10月3日に開催された「第19回アジア競技大会」の囲碁競技に、JOCを通じて日本代表選手を無事に派遣することができ、男子団体戦と女子団体戦で銅メダルを獲得することができた。

今回の大会参加を通じて、普段より多くのマスコミに囲碁・ペア碁そして選手たちの活躍を取り上げていただくことができた。

2026年に愛知・名古屋で行われる「第20回アジア競技大会」においては、まだ2024年3月現在、種目入りは不透明な状況ではあるが、将来のアジア競技大会やマインドスポーツ大会への選手・役員の派遣、成績向上に向けて、準備や取り組みを進めていきたい。

また、引き続き必要な諸規程の整備を行うとともに、当法人の安定的な活動のために、運営資金の調達に力を入れていきたい。

9. 来年度に向けた課題

- 9.1 安定した法人運営のための運営資金の調達
- 9.2 日本オリンピック委員会（JOC）への加盟承認の働きかけ
- 9.3 2026年愛知・名古屋アジア競技大会への囲碁・ペア碁の正式種目採用の働きかけ